



代表取締役社長

かんだ みよし
神田 美好

幼い頃から好奇心旺盛だった代表取締役社長である神田美好。新しい世界を常に追い求めていく中で、助産師からジーエム建機リース株式会社社員の社員となり、さらに社長に抜擢されるという、類まれな軌跡を辿る。

好きなものを突き詰める

自然豊かな新潟の大地を駆け回っていた幼少期。農家を営む両親は忙しく、身の回りのことは姉妹たちと分担して行っていた。小学校では陸上のクラブに所属。身体を動かすのが好きで、体力には自信があった。各小学校から男女1人ずつ選出される「健康優良児」の表彰を受けたこともある。

中学校時代は器械体操にのめり込み、高校ではテニス漫画の金字塔である「エースをねらえ！」に感化され、硬式テニスにはまった。初心者だった神田は、経験者の友人たちに追いつこうと練習に明け暮れた。最終的には、友人たちと

ともに県大会や北信越大会など、大きな大会に出場できるほどに腕を上げたのである。

高校2年生の時には、同級生のメンバーと学校に内緒で八ヶ岳合宿を強行。結局顧問に見つかってしまい、罰として活動停止1週間を言い渡された。しかし、「なぜ叱られるのか」の明確な答えは得られず、「ダメなものはダメ」の一点張りに違和感を覚えた。論理的に考えジャッジをするという現在の仕事に対する姿勢の萌芽は、この頃から見られていたのだ。

助産師から転職した理由

親戚の多くが医療関係者だったこともあり、幼い頃から看護師に憧れ、保健学科のある大学に進学。卒業後は、助産師として産科が開設されたばかりの地域の中堅病院に勤務した。やりがいを感じる一方、24時間365日病院に詰めるような毎日に、次第に心身ともに疲弊していく。そこで別の病院へ



の転職を考えていたところ、ジー、エム建機リースに勤めていた友人から「パソコン関係の導入が遅れているから、改善したい」との相談が入った。神田は、「それなら、私が行くよ」と、次の病院を探す間の「腰掛け」として入社を決めたのだった。

気づけばのめり込んでいた

すぐに退職するつもりで入社したが、「命」最優先の病院時代には考えもしなかった「お客様」や「会

社の利益」といった新たな概念に触れ、一気に興味がわいてきた。システム化が遅れていたのもあり、手をつけるころは山ほどある。それがまた、神田の好奇心を刺激した。外部に委託するなら、自分が理解して進めようと思い、気づけば会社設立の手続きまで手掛けることに。「面白い」という感情で、どんどん前に進んでいったのである。

社長としての責務

もともとジー、エム建機リースは、別会社の社長がオーナーとして兼任していたが、資金繰りが悪化し、前社長に会社を譲ることに。その後、業績が安定したのを機に、前社長も自身が以前から保有している会社の経営に専念すべく、ジー、エム建機リースの社長のバトンを社員の1人に渡そうと決意。その受け手に抜擢されたのが、財務のスペシャリストとして活躍していた神田だった。



当時、ジー、エム建機リースは全国規模のグループに所属しており、神田は自社の経営を見ながら、グループ会社で業績が悪化しているところに派遣されては立て直しを行っていた。山積みの問題を解決していくにつれ、業績が好調になっていく様を見るのは楽しくやがいにものつながっていたが、長期的に関われないのがジレンマだったという。一時の業績向上に油断し、もとの状態に戻ってしまった会社も多かったからだ。その後、あろうことがグループのおおもとの企業が倒産。ほとんどの会社は

それにつられて廃業を余儀なくされたが、ジー、エム建機リースは、神田の先を見据える経営手腕によって生き残った。トップとして、目先の業績に惑わされることの危険性を肌で感じた経験だった。

地場ナンバーワンになるために

神田が目指すのは、地場ナンバーワン企業だ。それは売り上げに限ったものではない。

「売り上げや利益はもちろん、人間性も鍛えていきたい。『ジー、エム建機リースの社員はすごい』と言われるような育成をし、地域にとってなくてはならない存在にしていきたいと思います」。

そのためにフィロソフィー勉強会も開催している。耳を傾け実践してくれる社員たちに感謝をしているという。押しも押されぬ地場ナンバーワン企業へ向けた挑戦は、まだ始まったばかりだ。

社内報『ジーエム通信』創刊のお知らせ

この度、活躍している社員や期待の若手社員を取り上げたり、会社の考えや理念を伝えたり、皆さんの気持ちや思いを共有したりする社内コミュニケーションツールのひとつとして、「ジーエム通信」を発行することになりました。

社内報の発行目的

- ★ 社員同士のコミュニケーション向上ツールとして
- ★ 会社の考えを伝えるためのツールとして

神田社長よりメッセージ!



この度、社内報『ジーエム通信』を創刊することとなりましたので、お知らせいたします。社員の皆様に会社の歴史や、社員一人ひとりのことを広く知っていただき、社員同士の絆を深めていただきたいという思いと、ご家族の方々に会社での皆様のご活躍を知っていただきたいという思いで、創刊することといたしました。『ジーエム通信』は月に一度発行し、読まれる皆様やご家族にとって、会社がより身近なものとなり親しんでいただけるツールとなることができれば幸いです。また、皆様への取材等もごございますので、その際にはご協力の程、宜しく願いいたします。

Q どんな内容を掲載するの？

- ◆ 各拠点での取り組み
- ◆ フィロソフィーに対する考え
- ◆ 昔の大失敗エピソード
…など

毎月**最終営業日**に発行します。是非、手にとってご覧ください!

私が思う『フィロソフィー』

ジー、エム建機リースの社員にとって常に意識していきたい重要な考えであるフィロソフィー。皆さんが日々の中でどのように意識しているかを毎号伺っていきます!ご自身にも活かせるポイントがあるはず……!

『有意注意で仕事にあたる』

「有意注意で仕事にあたる」は好きな言葉で、ユーザー訪問時や移動中、プライベートでも常に頭にある言葉です。いつでもどんなときでも、売上に繋がるものがないかを考え行動するように心掛けています。また、部下に対しての指導にも取り入れています。

長岡営業所
営業部長

えんどう しゅうじ
遠藤 修司さん